



先生は小学生のプログラミング教育にも力を入れています。

## ロボットがもっと身近な存在に ののいちコミュニティカレッジ

市民がいま注目のテーマについて学べる、ののいちコミュニティカレッジが1月25日(火)に学びの杜ののいちカレードで行われました。金沢工業大学の出村公成教授を講師に招き、近年のロボット研究の潮流について23人の受講生が耳を傾けました。ロボット技術は、世界各国の研究者が参加する最大のロボット競技会「ロボカップ」を通じて発展しているそうです。大会の目標は、「ロボットが2050年までにサッカーで人類に勝つ」こと。今後の技術発展から目が離せません。

## 家族の幸せを願って

### ちりめんでつるし飾りを作ろう

にぎわいの里ののいちカミーノで本町地区住民対象のつるし飾り作り講座が行われ、1月13、20、27日(木)の全3回に11人が参加しました。つるし飾りは昔、ひな人形が買えなくても我が子の幸せや健康を願い、着物の端切れを用いて作られたのが始まりだそうです。参加者は、さるばばや桃といった縁起物のモチーフを苦戦しながらも縫い上げていきました。完成の瞬間には「かわいい～！」との声が口々にあがり、自分だけの作品に大満足の様子でした。



ちりめんの優しい風合いがとても愛らしいです。



市民から社協に寄せられた会員会費が活用されています。

## 受け付けは3月31日まで

### 「自宅療養者等応援パック」の配布

市社会福祉協議会では、新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者で自宅療養・待機となった人から「買い物に行けず食事に困っている」といった声が多く寄せられたため、買い物へ行くことが困難な人を対象に食料品や日用品を無料で配布する取り組みを実施しています。食料品や日用品が入った箱を届けるのはボランティアや配送業者の皆さんです。ボランティアに参加している宮本一郎さんは、「困ったときにはお互い様なので、力になりたいです」と話しました。

## 野々市らしい新しい墓地公園

### (仮称) 中林地区市営墓地公園建設工事起工式

令和4年秋の供用開始を目指す中林地内の新市営墓地公園の建設工事起工式を、2月5日(土)に実施しました。式典で栗市長は「住み続けたいと思ってもらえるまちに墓地は必要不可欠。ふるさと野々市として、市民の皆さんに親しんで利用してもらえる場所にしたい」と述べました。今回整備する墓地公園では、一般墓や円形の合葬墓（納骨堂）のほか公営墓地では県内初の樹林型合葬墓を設け、多様な墓地ニーズに対応できるように整備を進めています。



名称は「メモリアルパークののいち」となります。

# F まちの話題 FOCUS

皆さんの周りの楽しい話題やイベントなどの情報を教えてください。  
市民協働課 (☎ 227-6056)

## おいしい味噌汁を目指して！

### 味噌づくり体験

1月23日(日)にぎわいの里ののいちカミーノでカメリア・パルの会による味噌づくり体験会があり、6家族18人が参加しました。カメリア・パルの会は、無農薬の米づくりや夏野菜の収穫体験などを通して農業の大切さ、食の安全を親子で学ぶイベントを行っています。今回は味噌づくりにチャレンジ。参加したお父さんは「祖父や祖母が作っていたけど、自分でするのは初めて」と初体験を楽しんでいました。ミンサーでつぶした大豆に塩やこうじを混ぜ、保存用のたるに詰めて完成ですが、発酵が必要なため食べられるのは半年後です。自分で作った味噌はきっとおいしさもひとしお。出来上がりが楽しみですね。



①約4時間かけて煮た大豆は柔らかくてふっくら②ミンサーを回すとつぶれた大豆がにゅーっと出できます③ぱんじゅうの中で大豆とこうじ、塩をよく混ぜます④混ざったらボール状に成型し、たるへ入れていきました



『ホーキーポーキー』はキャラメルの粒が入ったお薦めのアイス。

## ニュージーランドを紹介します

### 国際交流カフェへようこそ

にぎわいの里ののいちカミーノで1月22日(土)、昨年の11月に着任した野々市市の新たな国際交流員チョ・ジヒョンによる初めての国際交流カフェを開催しました。カフェでは、出身国であるニュージーランドの文化や特色をスライドで紹介し、マオリ文化やマオリ語が日常生活に溢れていることや、多彩な文化が混在する多民族国家であると説明しました。市の姉妹都市ギズボーンがある国ということもあって、23人の参加者は興味津々に話に聞き入っていました。



豆に見立てたボールで鬼退治！どんどん穴に投げ入れます。

## 鬼は外！福は内！

### 押野児童館 節分・親子でふれあいあそび

2月3日(木)、押野児童館で「節分・親子でふれあいあそび」が開催され、親子7組が参加しました。節分にちなんで、「鬼のパンツ」のメロディに合わせて踊ったり、ボールを穴の中に入れる鬼退治ゲームをしたり、鬼尽くしの遊びを行いました。また、ペーパーサート（紙人形劇）で節分の由来も紹介。鬼のペーパーサートに喜んで近づいて行く子や怖がって手で顔を覆う子など反応はさまざまです。最後には折り紙でできた鬼をお土産にもらい、大満足の節分となりました